

新潟市，再発見 — 魅力度アッププロジェクト —

教科等横断的単元

4 年虹の輪・社会科 6 月～7 月・9 月 75Q (25時間)
附属新潟小学校 教諭 梅津 祐介

1 本単元で目指す姿

世の中に融合する取組を実践することによって，その価値を見いだす子ども

具体的には，活動の目的に着目する「見方・考え方」を働かせ，まち歩きの内容を専門家のそれと比較したり，新しい情報を追加したりして改善し，実践することによって得た実感的な理解に基づいて，まち歩きの社会的な価値について考える姿。

2 本単元で育成する資質・能力（評価基準）

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度
総合	○ 新潟のまちの課題を解決するために必要なまちの歴史と地形，まち歩きに関する知識と技能	○ 新潟のまちの魅力やまち歩きの価値に迫るために，整理した情報を比較したり，関連付けたりする力	○ 自ら社会に関わり，参画しようとする態度
社会科	○ 調査活動，具体的資料を通して，必要な情報を調べ，まとめる技能		

3 関連する学習

[第3学年] 社会科
—わたしたちの大好きなまち—



[第4学年] 総合学習
—新潟市，再発見—

4 単元の計画

	【学習活動】★資質・能力	【働き掛け】	Q
総合・社会科 (一次)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調べた函館市の魅力と新潟市を比較する。★社会科② ★ツール活用能力 ・函館のまち並みは魅力的だ。 ○ 学習課題を解決する方法を考える。★社会科① ・新潟のまちにも魅力があるはず。実際に歩けば，分かるかもしれない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">◎ 新潟のまちにはどんな魅力があるのだろうか。</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新潟のまちの魅力について考える。★総合② ★ツール活用能力 ・小路の案内板が魅力的だった。 ・誰かが小路の魅力に気付いている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; background-color: #ffffcc;">○ 小路の魅力に気付いて，その魅力を発信している人がある。私たちも魅力度を上げる取組をしたい。★総合③</div>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 新潟市の魅力度を表すデータ（市町村魅力度ランキング141位）を提示し，魅力度1位の函館市と比較させる。 ※ タブレット端末を使って，調べさせる。 ◆ 学習課題を解決するための方法について問う。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ まち歩きを行い，新潟のまちの魅力についてまとめさせる。 ※ 小路案内板が設置してあるルートを選んで，まち歩きを行う。 ※ 小路案内板の作成者（野内隆裕さん）に興味をもった子どもの発言を取り上げる。 	18 Q 6 時間
総合・社会科 (二次)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 野内さんのガイドでまちを歩き，その思いに関心をもつ。★総合① ・初めて気付くまちの魅力があった。 ・野内さんは，どうしてまちの魅力を伝えているのかな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">◎ 野内さんはどうしてまちの魅力を伝えようと思ったのだろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 野内さんがまちの魅力を伝え始めた動機を知る。★総合① ・「おもしろいものは伝えたい」 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 小路案内板を作成した野内さんのガイドでまち歩き（みなとびあ～日和山）をする場を設定する。 ※ まち歩き後，案内された場所（砂丘や神社など）についてまとめさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 野内さんが活動を始めた動機について話を聞く場を設定する。 ※ 野内さんの話を聞いて分かったこと， 	24 Q 8 時間

<p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 野内さんから受け継いだバトンの意味を考える。 ★総合② ・バトンを受け取って何をしようか。 </p> <p> ○ 野内さんからバトンを受け取った。 私たちも誰かに伝えたい。 ★総合③ </p> <p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 魅力を伝えたい場所や風景を話し合う。 ★総合①② ★協働性 ・日和山は絶対に案内したい。 ・コースを決めるのは大変。野内さんの苦勞が少し分かった。 </p> <p> ○ 私たちにはバトンを受け取った責任がある。まちの歴史や風景を伝えることで、それを果たしたい。 ★総合③ </p> <p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 野内さんのまち歩きと比較して歩く ★総合①② ★社会科① ★協働性 ・地域の人と話せて楽しかった。 ・野内さんのまち歩きには程遠いな。 </p> <p> ○ もう少し改善して、野内さんのまち歩きに近付けたい。 ★総合③ </p>	<p>共感したこと等を作文に書かせる。</p> <p>◆ 野内さんが今の思い（子どもたちにバトンをつなげたい）を語ったビデオメッセージを視聴させ、その思いについて問う。</p> <p>◆ 「みなとぴあ～日和山」を自分がガイドするなら、どこを案内したいか問う。</p> <p>※ 案内する場所は、3か所に限定する。</p> <p>※ グループで一つのコースを考える。</p> <p>※ コースを決める際、大切にしたことや感じたことは何か問う。</p> <p>◆ 自分で考えたコースを実際に歩く場を設定する。</p> <p>※ 各グループがそれぞれ考えたコースを歩く。</p>
<p>総合（三次）</p> <p>○ 学習の目的達成の判断基準について考える。</p> <p>・どんな人をガイドするといいいかな。</p> <p>・参加者がどんな反応をしたら目的が達成されるかな。その反応が出るようなコースにしたい。 ★総合②③</p> <p>◎ 期待する反応が表れるまち歩きにするには、何を加えればよいか。</p> <p>○ イベントのシミュレーションを行うことで、自分たちのまち歩きの改善点を考える。</p> <p>・まちの変化もガイドに追加したい。</p> <p>・野内さんみたいにやればいい。</p> <p>★総合①②★社会科①★ツール活用能力</p> <p>○ 私たちのまち歩きは、もっとできることがあるはずだ。 ★総合③</p> <p>○ 実際にガイドすることで、参加者の反応を実感する。</p> <p>・実際のガイドは難しかった。</p> <p>・興味をもって聞いてくれたから、魅力は伝わったんじゃないか。 総合②</p> <p>○ 期待する反応があった。伝えたい魅力は伝わったと思う。 ★総合②</p> <p>○ 参加者に伝わった魅力について考える。</p> <p>・どちらも魅力であることに変わりはない。</p> <p>・まち歩きは、参加者と一緒に魅力をつくっていくものなんだな。</p> <p>○ 学んだことを自覚する。</p> <p>・野内さんに認めてもらえた。これからもまち歩きを続けていきたい。</p> <p>○ まち歩きはみんなでつくっていくものなんだ。一緒に歩く人が変わると、また新しい魅力を見つけることができるかもしれない。まちの魅力がもっといろいろな人に伝わるように、これからもまち歩きを続けていきたい（Cn）。 ★総合①②③</p>	<p>◆ 学習の目的の達成状況と、その判断基準について問う。 【働き掛け1】</p> <p>※ 「まちを知らない人」をガイドすることが目的に相応しいことを確認する。</p> <p>※ 若者（新潟大学学生団体 CANs, 新潟医療福祉大学の学生）を対象にしたまち歩きイベントを開催することを伝える。</p> <p>◆ まち歩きイベントのシミュレーションをする場を設定する。 【働き掛け2】</p> <p>※ 校舎内をコースに見立てたり、タブレット端末の地図アプリを使ったりする。</p> <p>※ 野内さんのまち歩きと比較して考えさせる。</p> <p>※ みなとぴあ学芸員にまちの変遷に関する話を聞く場を設定する。</p> <p>◆ まち歩きイベントを開催する場を設定する。 【働き掛け3】</p> <p>※ 目的地に到着後、参加者にアンケートの記述をお願いする。</p> <p>※ イベント終了後、参加者の反応はどうであったか問う。</p> <p>◆ 「伝えたい魅力」と参加者が「受け取った魅力」に違いが表れたアンケート結果を提示する。 【働き掛け4】</p> <p>※ 伝わった魅力は何か問う。</p> <p>※ 話し合いのファシリテーターをイベントに参加した学生に任せる。</p> <p>◆ これまでの取組について、野内さんから評価を受ける場を設定する。</p>

33 Q 11時間

